

令和6年3月7日

保護者 様

荒川区立第三中学校長
小柴 憲一

給食時の座席の向きについて

このことについて、令和5年11月13日発行の三中だよりで、以下のように記載させていただきました。

大人の社会では、現在は会食も普通に行われていますが、本校では、今でも給食時は全員前を向いた座席で喫食しています。

したがって、食育の一環でもある、

- 食事中に楽しく会話をする事は「食事は楽しいもの」という気持ちを生む
- 料理の味や香り、見た感じから、調理方法や使われた食材の会話は調理への関心を高める
- 伝統的な食文化、国際的な食文化などに関する会話は「食」に対する知識を深めるなどの効果を求める以外にも、特別活動の視点から班単位の活動を活発にし、自治活動の基本単位の形成を図ることにもなるため、来年度からは班ごとに机を合わせて食べさせたいと考えています。

そのため、新年度からスムーズに移行できるようにするため、3学期から導入を図りたいと考えているところです。

ただし、本校は他の区立中学校と比較してもマスクの着用率は高く、保護者の皆様の中にも対面で喫食することに対する慎重なお考えがあるのではないかと思います。

本校内でも、まだ学校組織として検討を始めたわけではありません。

もし、保護者の皆様の中でご意見などがありましたら、担任までお寄せいただけますと、検討の際の参考になりますので、ご協力お願いいたします。

しかし、今でも新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどに罹患する子どもが散見されていますし、2月下旬には流行のピークを過ぎたように見えますが、またいつ感染拡大が始まるかは予測できない状況です。

かつて、新型コロナウイルス感染症が発生する以前は、荒川区を除いては、ほとんどの区市で、インフルエンザ流行の兆候を把握していても給食時は机を向かい合わせて班になって喫食していました。しかし、当時と現在では感染症予防に対する社会的認識も大きく変容しており、より慎重に対応するという風潮があります。特に、荒川区の保護者の皆様にとっては心配がつきないのではないかと推察いたします。

つきましては、現行通り、新年度になっても子どもたちが前を向いて喫食する体制を継続してまいりたいと思います。

そして体制を変更するに当たっては、近隣の汐入小学校・汐入東小学校とも連絡調整を図りながら検討してまいります。

【担当】荒川区立第三中学校 副校長 安田 博史
TEL:03-3801-5808